

せんだい普及センターだより

BLOSSOM

Vol.88

令和7年6月27日発行

芽吹く命、 つながる未来

■トピック

ー令和7年度プロジェクト課題のご紹介ー

ーみどりの未来へ、一歩前進！みどり認定の申請受付中ー

了美ヴィンヤード&ワイナリー
ブドウ畑での作業風景

令和7年度プロジェクト活動紹介

次代を担う生産者の育成による梨産地活性化【令和5年度～令和7年度】

対象：JA 仙台利府梨部会 部会員4人（同部会員58人） 利府町

JA 仙台利府梨部会は、生産者58名が加入しており、面積は約20haとなっています。近年は生産者の高齢化と梨の高樹齢化により生産量の落ち込みが心配されています。

この課題解決に取り組むため、普及センターでは利府町・JA 仙台東部営農センターなどの関係機関と連携し、国補助事業の活用支援や新技術の導入を行ってきました。昨年度は天敵製剤の導入に関する活動を行い、薬剤費と散布時間の削減を達成することができました。

今年度から利府町では天敵製剤に関する助成を実施しています。また、梨の栽培に取り組む地域おこし協力隊が3名、梨の栽培を志す新規就農者が2名増えるなど、若手生産者が活気づいてきました。

今後も生産者の経営が安定できるように、伴走型支援を行っていきます。



▲新潟県へ視察研修の様子

ねぎの次世代担い手育成による産地の強化【令和6年度～令和8年度】

対象：JA 新みやぎあさひなねぎ部会 若手生産者5人（大和町、大郷町）



▲先進地視察研修会

JA 新みやぎあさひなねぎ部会は、部会員72名で約13haを作付けしています。高齢化により部会員は減少傾向であるものの、新規就農者など、新たにねぎの栽培に取り組む動きもみられます。

普及センターでは若手生産者5人を対象に、巡回指導などによる栽培管理技術の向上や、SNSを活用した若手生産者のネットワーク形成を進めると共に、作期拡大のための春どりねぎの実証や、産地の維持・拡大に向けたアンケート調査の活用などを通じて、新たな担い手育成による産地の強化に取り組んでいます。

ほ場整備を契機とした営農体制の整備【令和6年度～令和7年度】

対象：株式会社大輪（たいわ）（大和町）

株式会社大輪は、吉田金取北地区の担い手法人として令和5年5月に設立され、水稻、大豆のほか、ねぎ、ピーマン、ばれいしょ等の園芸品目を栽培し、経営を拡大しています。

現在進められている農地整備事業により、約50haの農地が同法人に集積される見込みで、整備後の農地利用の効率化や労働力確保の体制づくりを進めています。

普及センターでは、昨年度に引き続き、水稻乾田直播の導入検討や営農管理システムの活用、経営方針や資金計画の策定支援などを通じて、担い手の経営安定と地域農業の持続化に向けた支援を行っていきます。



▲ばれいしょの生育状況を確認

水稻乾田直播栽培技術の定着による大規模土地利用型経営体の基盤強化

【令和6年度～令和7年度】

対象：(有)ITO、(株)高橋グリーン、(農)アグリ今泉、(農)若木の里、みどりあーと山崎(株)

黒川地域では、水稻栽培の省力化と効率化のため、大規模土地利用型経営体を中心に近年水稻乾田直播栽培（以下、乾直）の取組みが拡大しています。そこで普及センターでは、地域に安定した乾直技術を普及させるため、昨年に引き続き黒川地域で乾直に取り組む5経営体をモデル経営体として支援しています。

昨年は各経営体とも十分な収量を得られ、積算気温を根拠にした除草等の栽培管理の考え方も浸透してきています。今年は、降雨等で作業の遅れもありましたが、雑草も抑えられており順調な滑り出しとなっています。

今後も普及センターでは、関係機関と連携して乾直の取組みを支援していきます。



▲播種の様子

Topic 1

みどり認定の申請を受け付けています



県では、みどりの食料システム法に基づき、農業者が環境負荷低減に取り組む農業者の実施計画を県知事が認定する制度「みどり認定」の申請を随時受け付けています。

認定を受けることで、実施計画に従って導入する農業機械・設備の上乗せ償却や、国庫補助事業の採択優遇、金融面の支援などのメリットがあります。

環境負荷低減活動は、土づくり、化学肥料・化学農薬の使用低減のほか、燃料使用低減や、温室効果ガス排出削減、生分解性プラスチック資材の使用などがあげられます。

なお、国の環境保全型農業直接支払交付金制度は、令和7年度に見直しを行った上で、令和9年度を目標に「みどり認定」を受けた農業者を支援する仕組みに移行することを検討しています。

仙台農業改良普及センター管内のみどり認定件数は11件となっています（令和7年5月末時点）。申請は、ひとりでも、グループでも可能ですので、環境にやさしい農業に取り組む「みどり認定」を受けましょう！！

みどり認定についてはこちら（農業政策室HP）▶

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/noseise/midorikihonkeikaku.html>



Topic 2

熱中症に気を付けて安全な農作業を心がけましょう



全国では令和6年度の夏季（5～9月）において、田畑などで農作業中に熱中症によって救急搬送された人数は2,322人と直近5年で最多となっています。

熱中症対策として、以下の予防のポイントを心がけましょう！！

【予防のポイント】

- 暑さを避ける：高温時の作業は極力避けましょう！
- こまめな休憩と水分補給：水分補給は喉の渇きを感じる前に！
- 単独作業は避ける：複数名で作業を行い、連絡を取り合しましょう！
- 熱中症対策アイテムの活用：帽子や吸湿速乾性の衣服の着用、空調服や送風機を活用しましょう！

ファン付き
ウェア



身体に風を吹き込み、気化熱で涼しい

ネック
クーラー



首元は冷やす場所として最適

（農林水産省HPより）

新農業士紹介

利府町



いとう だいすけ

伊藤 大輔さん

70aの和梨栽培を行っており、受注個別発送と園地内に設置している直売所で全量を個人で販売しています。

奥様のご自家である梨園を引き継ぐ形で就農し、令和6年度に経営移譲を受けました。

天敵ダニによる防除や防鳥ワイヤーの設置などの新たな栽培技術に積極的に取り組んでいます。また、梨栽培の新規就農希望者に対する技術指導に取り組むなど、梨産地における地域の牽引役として活躍しています。

仙台市



あいはら みほ

相原 美穂さん

父の水田農業（約2700a）を手伝う傍ら、自らも独自に野菜生産（露地約100a）に取り組んでいます。

女性農業者としての気配りや視点、都市近郊型農業の利点を生かした作目展開や販路開拓、更には異業種との交流など、収益性の高い農業を実践しています。

女性農業者のコミュニケーションづくりにも積極的に取り組んでいるほか、専門学校で農業講座で講師を務めるなど、農業教育分野にも積極的に関わっています。

大郷町



ちば よしのり

千葉 善則さん

地域との共存共栄を理念に、地域の担い手として集落営農組織から発展的に設立した農業法人の代表を務めており、水稻47ha、大豆63haを作付けしています。

今後さらに規模拡大が見込まれることから、水稻の直播栽培や、様々な品種の作付けに取り組んでおり、収益性の向上にも繋がっています。

代表を務める法人では、地域の農地面積の8割以上を集積する中心経営体として、さらなる経営面積の拡大と経営の効率化を図っています。

表紙について

了美ヴィンヤード&ワイナリーが創立10周年を迎えました

大和町の了美ヴィンヤード&ワイナリーは、平成27年に法人を設立し、翌年にはブドウの植え付けが行われました。栽培されている醸造用ブドウは、主にヨーロッパで栽培されている品種が多く、栽培が難しいのですが、丁寧な作業で品種が持つ風味と個性を生かすように努めています。

こだわりを持って醸造されたワインは、国際的な数々の賞を受賞するなど、注目を集めています。5月13日には大和町長や周辺自治体の関係者など約50人が集まり、ワイナリーの創立10周年を記念した式典が行われました。

普及センターでは、ブドウ畑の土壌分析や補助事業導入にかかる支援を行ってきました。令和3年には農業大学の卒業生2名がブドウ栽培の社員として就職しています（表紙の2人）。彼らはブドウの栽培に熱心に取り組んでおり、今後の活躍が期待されます。普及センターでは今後も支援を続けていきます。



▲ブドウ畑の景観

仙台地方振興事務所農業振興部及び仙台農業改良普及センターの担当業務

仙台地方振興事務所農業振興部

調整指導班 022-275-9251

農地法、農業振興地域制度、
農業経営基盤強化促進対策 等

農業振興班 022-275-9250

経営構造対策、農業金融、主要農作物の生産振興、園芸振興、
農業適正使用、肥料の届出、みどり戦略関係 等

仙台農業改良普及センター

地域農業班 022-275-8320

管内市町村の地域農業振興計画の支援
担い手や後継者の育成 等

先進技術第一班 022-275-8410

作物、野菜の生産技術改善
主要農作物の種子生産 等

先進技術第二班 022-275-8374

経営管理の高度化
花き、果樹、畜産の生産技術改善 等

発行：宮城県仙台農業改良普及センター（仙台地方振興事務所農業振興部）

〒981-8505 仙台市青葉区堤通雨宮町4番17号 TEL：上記に記載 FAX：022-275-0296（共通）

E-mail：sdnokai@pref.miyagi.lg.jp（代表） URL：https://www.pref.miyagi.jp/site/sdnk/



この印刷物は1000部発行し、1部あたりの経費は77円です。